2026年度 シラバス

黄浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科	学年	2	開講区分	前期	担当教員	今井リカ 内山 百委	
授業科目名	オリエンテーション・導入教育Ⅲ	必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	15	授業回数 集中

〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)

滋慶教育科学研究所にて、キャリア教育について研鑽している教員が、ひとり一人のこれまでのキャリアを振り返るとともに、今後のキャリア設計ができるよう授業を実施します。

〔到達目標〕

自己理解を深め、美容業界への理解と専門性を高めるとともに、社会人として必要な態度、コミュニケーション能力、課題解決力について考えることができるようになる。また、これらを通じて自らのキャリアについて、主体的に行動ができるようになる。

〔使用教材、参考文献等〕

筆記用具、その他随時指定。

〔準備学習・時間外学習〕

随時指定。

回	〔授業概要〕 ※内容に変更が発生する場合もあります。	到達目標(できるようになること)
1	オリエンテーション キャリ教育の意義と目的	キャリア教育の目的を理解し、自身の将来について考えることができるようになる
2	自己理解① 「自分を知る」	自身の特性や価値観を言語化できるようになる
3	自己理解② 「目標設定」	自身の目標を具体的に設定できる
4	成功の原則	目標に向けて具体的な行動計画が設定できるようになる
5	社会人基礎力とビジネスマナー	社会人として必要な基本的なマナーを実践できるようになる
6	美容業界で必要とされるコミュニケーションとチームワークについて	コミュニケーションとチームワークの重要性を知り、実践できるようになる
7	キャリアプランの設計と作成	将来のキャリアプランを具体的に示し、自身の言葉で伝えることができるようになる
8	発表/定期試験	
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

〔特記事項・授業時間外における学習〕

〔成績評価の方法と基準〕

●評価

A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)

E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

中間試験40点、期末試験60点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

学科・コース	ヘアメイク科	学年	2	開講区分	前期	担当教員 内山 百奏			
授業科目名 相互支援演習Ⅱ		必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	15	授業回数	集中

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

クラス全体でファッションを考え、競技に取り組むことで、協調性を養い、クラス・学科間の相互支援関係を構築する

ブライダル業界最大手で営業・プランナー・運営を経験後、美容師科で国試・就職へと導いてきました。専門学校は「就職」を叶える場所。現場のリアルを知る私だからこそ伝えられる「社会で愛されるコツ」があります。皆さんが自分らしく、自信を持ってプロの世界へ羽ばたけるよう全力でサポートします。

〔到達目標〕

・競技参加種目を決める
・クラスごとに衣装のコンセプトを決める ・当日を楽しみ、仲間を応援する

〔使用教材、参考文献等〕	〔準備学習・時間外学習〕
都度授業内で連絡	

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1 2 3 4	【授業単元】 参加競技決定 役割・委員決め 衣装決定	【到達目標】 クラス内で役割を決め、参加する競技を決める クラスごとにコンセプトを基に衣装を決める 小テスト・中間テスト：事前準備の積極性にて評価 40点満点
5 6 7 8	【授業単元】 行事当日 各種目に参加する	【到達目標】 各自与えられた役割を基に、競技に参加し、行事を運営する。 応援を通し、相互支援関係を構築する。 【定期テスト】 当日の出席・競技の積極性・応援の積極性等にて評価60点
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

〔特記事項・授業時間外における学習〕	〔成績評価の方法と基準〕
	●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 中間試験〇点、期末試験〇点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科	学年	2	開講区分	前期	担当教員	内山 百奏
授業科目名	プロフェッショナルへの道Ⅲ	必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	30
						授業回数	15

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

社会人になる為に必要な社会人基礎力の向上や就職活動に必要な知識を得られる。

〔到達目標〕

社会人になる前に必要な社会人基礎力を養い、将来に向けて役立てる知識を得ることができる。

〔使用教材、参考文献等〕

筆記用具、その他随時指定。

〔準備学習・時間外学習〕

随時指定。

回	〔授業概要〕 ※内容に変更が発生する場合もあります。	到達目標(できるようになること)
1	就職活動や今後に向けての全体像理解	全体像を理解して、今後のイメージを持つことができるようになる。
2	行事・特別授業の概要・準備	概要把握・準備を行い、習得度の精度を上げることができるようになる。
3	自己分析（自己PRの素材抽出）①	自己分析を通して、自身の強みを知る。
4	自己分析（自己PRの素材抽出）②	自己分析を通して、自身の強みを知る。
5	求人の見方・電話のかけ方や敬語の使い方	保険の知識やマナー等を学ぶ。
6	面接対策①	面接試験における基本を学ぶ。
7	面接対策②	面接試験における基本を学ぶ。
8	一般常識①	社会人基礎力を向上させる。
9	面接対策③	模擬面接前の事前確認をして、面接力を向上させる。
10	模擬面接①	本番同様の面接を行い、実践力を高める。
11	模擬面接②	本番同様の面接を行い、実践力を高める。
12	一般常識②	社会人基礎力を向上させる。
13	一般常識③	社会人基礎力を向上させる。
14	定期試験	前期で学んだことを確認して知識向上を図る。
15	前期まとめ	総括して後期に向けてステップアップをする。

〔特記事項・授業時間外における学習〕

〔成績評価の方法と基準〕

●評価

A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
中間試験40点、期末試験60点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科	学年	2	開講区分	前期	担当教員	内山 百泰		
授業科目名	業界研究Ⅲ	必修選択	必修	授業形態	講義	時間数	30	授業回数	集中

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける

ブライダル業界最大手で営業・プランナー・運営を経験後、美容師科で国試・就職へと導いてきました。専門学校は「就職」を叶える場所。現場のリアルを知る私だから

〔到達目標〕

自身が将来進みたい分野の仕事のイメージつけることができる

〔使用教材、参考文献等〕

資料・教材は毎授業時に配布

〔準備学習・時間外学習〕

授業によって自宅課題あり

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1 2	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（事務所）	【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる
3 4	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（スチール・広告）	【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる
5 6	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（映像系）	【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる
7 8	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り	【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる
9 10	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（ブライダル）	【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる
11 12	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（フォトスタジオ）	【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる
13 14	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（サロン）	【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事をイメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる
15	【授業単元】定期試験 振り返り	【到達目標】ヘアメイクの仕事をトータルな視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる

〔特記事項・授業時間外における学習〕

〔成績評価の方法と基準〕

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
中間試験〇点、期末試験〇点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。

2026年度　シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科	学年	2	開講区分	前期	担当教員 内山 百委			
授業科目名 ファイナルコンテスト		必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	15	授業回数	集中

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

1年次および2年次前期の学びを活かし、独創的な作品を発表する

ブライダル業界最大手で営業・プランナー・運営を経験後、美容師科で国試・就職へと導いてきました。専門学校は「就職」を叶える場所。現場のリアルを知る私だからこそ伝えられる「社会で愛されるコツ」があります。皆さんが自分らしく、自信を持ってプロの世界へ羽ばたけるよう全力でサポートします。

〔到達目標〕

モデルを対象に、コンセプト通りの作品を表現する

〔使用教材、参考文献等〕

都度授業内で連絡

〔準備学習・時間外学習〕

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1–8	【授業単元】 コンセプト作成および仕込み コンテスト発表	【到達目標】 ・テーマを基にイメージを膨らませ、コンセプトシートに落とし込む ・コンセプトシートを基に必要な材料をそろえる ・モデルに対し、事前に衣装合わせなどを実施する ・コンセプトシートを基にモデルにヘアメイクを施す ・制限時間内で仕上げ、プレゼンテーションを行う 【評価】 審査員および指導教員の評価により100点満点にて評価する
9–14		
15		

〔特記事項・授業時間外における学習〕

〔成績評価の方法と基準〕

●評価

A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）

E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

中間試験〇点、期末試験〇点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科	学年	2	開講区分	前期	担当教員	内山 百奏		
授業科目名	業界特別授業Ⅱ	必修選択	必修	授業形態	実習	時間数	15	授業回数	集中

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

ヘアメイク技術を知り、知見を広げる

ブライダル業界最大手で営業・プランナー・運営を経験後、美容師科で国試・就職へと導いてきました。専門学校は「就職」を叶える場所。現場のリアルを知る私だからこそ伝えられる「社会で愛されるコツ」があります。皆さんが自分らしく、自信を持ってプロの世界へ羽ばたけるよう全力でサポートします。

〔到達目標〕

ヘアメイクアーティストの実演を通してヘアメイクの幅を広げる

〔使用教材、参考文献等〕

都度授業内で連絡

〔準備学習・時間外学習〕

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1–4	【授業単元】 ヘアメイク事情	【到達目標】 ヘアアーティストとメイクアップアーティストの違いについて、調べ学習や発表を通して理解を深める
5–8	【授業単元】 ヘアメイクアーティストの技術実演①	【到達目標】 制作プロセスから見学し、自分の作品制作に活かすことができる
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

〔特記事項・授業時間外における学習〕

〔成績評価の方法と基準〕

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）
●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
中間試験〇点、期末試験〇点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイク専攻	学年	2	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名	専攻別レッスンⅡ					藤崎 日葉里			
		必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	30	授業回数	15

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

美容師歴5年、クリエイティブチーム所属。ヘアショー、各種撮影に多数参加した経験を元に撮影技術を授業していく

〔到達目標〕
アドバンスヘアメイクで学んだデザインを実際に作成し撮影する事で、実物と写真にした際の違いや注意点を学んでいく。
顔回りや襟足回りなど細部まで意識して作品を作れるようになる事を目指す。

〔使用教材、参考文献等〕
ヘアメイク教材一式

〔準備学習・時間外学習〕

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1	2026年4月15日 相モデルでの作品作り、及び撮影	実際に作成したデザインと撮影したデザインの見え方の差を理解する
2	2026年4月22日 相モデルでの作品作り、及び撮影	実際に作成したデザインと撮影したデザインの見え方の差を理解する
3	2026年5月13日 相モデルでの作品作り、及び撮影	顔回りや襟足回りの処理を確実に行う
4	2026年5月20日 相モデルでの作品作り、及び撮影	顔回りや襟足回りの処理を確実に行う
5	2026年5月27日 相モデルでの作品作り、及び撮影	全体の構成や背景の違いによるデザインイメージの差を理解する
6	2026年6月3日 相モデルでの作品作り、及び撮影	全体の構成や背景の違いによるデザインイメージの差を理解する
7	2026年6月10日 相モデルでの作品作り、及び撮影	モデルのポージングについて
8	2026年6月17日 相モデルでの作品作り、及び撮影	モデルのポージングについて
9	2026年6月24日 相モデルでの作品作り、及び撮影	光の種類によるイメージの違いを理解する
10	2026年7月1日 相モデルでの作品作り、及び撮影	光の種類によるイメージの違いを理解する
11	2026年7月8日 相モデルでの作品作り、及び撮影	より完成度の高い作品作り
12	2026年7月15日 相モデルでの作品作り、及び撮影	より完成度の高い作品作り
13	2026年7月22日 相モデルでの作品作り、及び撮影	より完成度の高い作品作り
14	2026年7月29日 相モデルでの作品作り、及び撮影	より完成度の高い作品作り
15	2026年8月4日 相モデルでの作品作り、及び撮影	より完成度の高い作品作り

〔特記事項・授業時間外における学習〕
撮影した作品は後日コラージュ作成にて使用
その完成度で評価

〔成績評価の方法と基準〕
●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
中間試験40点、定期試験60点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科 メイクアップ専攻	学年	2	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名	専攻別レッスンⅡ					関亜沙美			
		必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	30	授業回数	15

〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)

美容師として2年間勤務後、メイクアップアーティストやビューティーアドバイザー、またサロンメイクなどのメイクアップの教育に30年間以上携わりヘッドスパサロンでセラピストとしても20年勤務。現在、他美容学校、美容商材会社アカデミー、メイクサロン、アイブロウサロンのメイクアップ講師、ヘッドスパニストも勤める講師が時間内に基本的なメイクアップが習得できる実践的な授業をおこないます。
メイクアップにおけるイメージによるポイントの違いを理解し、表現出来る理論とテクニックを身につける実践的な授業をおないます。

〔到達目標〕
セルフメイクにより自らの顔の変化を実感しイメージに応じて理論的に説明でき、的確なテクニックを表現出来るようになる。

〔使用教材、参考文献等〕メイク道具一式 筆記用具 iPad
専攻別レッスン専用ファイル

〔準備学習・時間外学習〕

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1	1年次復習 フェイスバランス 子供顔理論 メイクテクニック	子供顔メイクテクニックの習得
2	1年次復習 フェイスバランス 大人顔理論 メイクテクニック	大人顔メイクテクニックの習得
3	1年次復習 フェイスバランス 遠心顔理論 メイクテクニック	遠心顔メイクテクニックの習得
4	1年次復習 フェイスバランス 求心顔理論 メイクテクニック	求心顔メイクテクニックの習得
5	キュート 可愛らしさの理論 メイクテクニック	キュートメイクテクニックの習得
6	フェミニン キレイさの理論 メイクテクニック	フェミニンメイクテクニックの習得
7	中間試験	フェミニンメイクテクニックの表現
8	クール かっこよさの理論 メイクテクニック	クールメイクテクニックの習得
9	エレガント 上品さの理論 メイクテクニック	エレガントメイクテクニックの習得
10	ボーイッシュ・マニッシュ 少年っぽさ男性っぽさの理論 メイクテクニック	ボーイッシュ・マニッシュメイクテクニックの習得
11	セクシー 色っぽさの理論 メイクテクニック	セクシーメイクテクニックの理論
12	フレッシュ 爽やかさの理論 メイクテクニック	フレッシュメイクテクニックの習得
13	ゴージャス 華やかさの理論 メイクテクニック	ゴージャスメイクテクニックの習得
14	定期試験	ゴージャスメイクの表現
15	イメージコーディネート	好きなイメージのメイクを自在に表現出来る

〔特記事項・授業時間外における学習〕

〔成績評価の方法と基準〕

●評価
A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
中間試験40点、定期試験60点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイク専攻	学年	2	開講区分	前期	担当教員	石丸美沙子・平澤香織		
授業科目名	ヘアメイク総合技術Ⅲ	必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	60	授業回数	30

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

石丸：有名アーティストなどのヘアメイクやファッションショーのバックステージ、講師業を15年以上有し、海外2店舗、国内2店舗のサロン経営から、海外での美容事情など様々な視点から美容業界の情報を発信します
平澤：国産化粧品ブランドにて13年間勤務。その内、6年間メイクチームに所属。東京コレクションのバックステージや外部講師を経験

〔到達目標〕
デザインヘアメイクを学ぶことでイメージ表現の幅を広げることができ、コンテストやショーなどの作品制作のアイディアを最大限に引き出すことができる。また≪コンセプトシート→モデルのヘアメイクテスト→写真撮影≫の流れをしっかり理解し、プロのカメラマンに撮影してもらい各自で編集することで質の高いヘアメイクの作品を出展することができる

〔使用教材、参考文献等〕

〔準備学習・時間外学習〕

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1・2 3・4	デザインヘアメイクⅠ 【授業内容の説明・ファイナルコンテスト概要説明（フォトコンテスト）】	コンセプトシート作成（コンセプトイメージ・試作）
5・6 7・8	デザインヘアメイクⅡ 【眉消し・マスキング・2D3Dメイク】	デザインヘアメイクの基礎知識と技法・骨格分析と色の技法・マテリアルバランスとライティングによる表現方法を習得する
9・10 11・12	デザインヘアメイクⅢ 【ウィッグコンテストのテーマを相モデルでアレンジ】 （40点）	ウィッグコンテストのテーマに合わせてヘアパーツやメイクパーツを用いて相モデルで作りこみ練習を行うことでイメージ表現を習得することができる
13・14 15・16	デザインヘアメイクⅣ 【モード性の高いヘアパーツ作成・ヘアエクステンション】	コレクションやVOGUEなどモード性の高いヘアパーツ作成をすることでイメージ表現の幅を広げることができる。ヘアエクステンション技術を習得する
17・18 19・20	デザインヘアメイクⅤ 【メイクパーツ・まつ毛パーツ作成】	メイクパーツ、まつ毛パーツの作り方を習得することでイメージ表現の幅を広げることができる
21・22 23・24	デザインヘアメイクⅥ 【テーマに合わせたヘアメイク】	ファイナルコンテスト（フォトコンテスト）のテーマに合わせたヘアメイク練習を行う＊フォトコンテストモデル来校
25・26 27・28	スチール撮影 【ファイナルコンテスト（フォトコンテスト）の作品撮影】	プロのカメラマンによるファイナルコンテスト出展用の作品撮影会
29・30	定期試験・作品編集・プレゼンテーション練習 （60点）	25～28で撮影したコンテスト出展用写真の編集を行いプレゼンテーションの準備を行う

〔特記事項・授業時間外における学習〕
ファイナルコンテスト対応の授業内容では、様々な詳細の伝達や締切事項が発生します。授業内での伝達をしっかり理解し、欠席した際には前回のコマシラバスや資料などをみて内容を把握した状態で次回の授業に出席するようにしてください。＊フォトコンテストのモデルはプロ道で依頼する予定です。23～26or27,28の授業ではモデルにも来校してもらいます。

〔成績評価の方法と基準〕
●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
中間試験40点、定期試験60点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科メイクアップ専攻	学年	2	開講区分	前期	担当教員 木浪 亜実			
授業科目名	ヘアメイク総合技術Ⅲ	必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	60	授業回数	15

〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)
ベーシックなメイクの技術からの応用でトレンドやイメージを活かしたメイク技術。作品撮りを学びます。美容部員歴20年の講師が1人1人の特徴を活かしたメイク技術を教えサポートします。

〔到達目標〕
メイク構成と1年の時に基礎を学んだヘアを取り入れて、全体的なバランスを仕上げる技術を習得する。

〔使用教材、参考文献等〕
授業内容で異なる為授業内で確認

〔準備学習・時間外学習〕

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1・2	ファイナルコンテストに向けた作品決め 授業説明 テーマ説明 リサーチ	テーマをそれぞれのイメージにリサーチし、コンセプトシートに作っていく。
3・4	テーマ決め 作品作り	コンセプトシートを仕上げて実際のメイクを作れる
5・6	テーマ決め 作品作り	メイクに合わせてヘアも一緒に作品作りができる
7・8	作品作り テーマ修正	作品作りのバランスを学びイメージをヘアメイクに表現できる
9・10	作品作り イメージ修正	メイクとヘアがコンテストに向けた形になっていく
11・12	作品作り イメージ修正	スムーズにヘアメイクの仕上がり。コンセプトシートの修正が出来る
13・14	作品作り 撮影練習	ヘアメイクにあわせた撮影手順を学ぶ
15・16	作品作り 撮影練習	ヘアメイクにあわせた撮影方法を身につける
17・18	作品作り 撮影練習	ヘアメイクにあわせた撮影の応用を取り入れる
19・20	作品制作完成	コンテストをイメージした作品作りの仕上げ
21・22	作品制作完成	撮影したフォトの編集やアレンジを学ぶ
23・24	作品制作完成	撮影したフォトの編集やアレンジが出来るようになる
25・26	作品制作完成 撮影	コンテストに向けた予行練習
27・28	作品制作完成 撮影	コンテストに向けた予行練習
29・30	プレゼンテーション作成。本番準備	作品のイメージや工夫した所を文章にする

〔特記事項・授業時間外における学習〕

〔成績評価の方法と基準〕
●評価
A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)
●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
中間試験〇点、期末試験〇点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科	学年	2	開講区分	前期	担当教員	高岸裕一		
授業科目名	特殊メイク演習Ⅱ	必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	15	授業回数	集中

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

普段、撮影や収録現場で制作会社や編集からのリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。
その中でも、特殊メイクに特化した授業を行う。

フロムハンド卒業後に国内外のブランドのMA、美容サロンの店長後に独立、ヘアメイク事務所の代表、CAA化粧品販売員検定協会の代表理事、クリエイター系会社の代表取締役、コスプレ技術検定協会の理事など兼任、現在も国内外にて活躍中の講師

〔到達目標〕

舞台メイク基礎を学ぶ

〔使用教材、参考文献等〕

都度授業内で連絡

〔準備学習・時間外学習〕

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1	【授業単元】 舞台メイク教材基礎知識	【到達目標】 発汗に強いベース作り
2	ベース作り	ベース作り～立体感・陰影作り
3	小テスト ベース作り	ベース作り～完成まで
4	ポイントメイク基礎Ⅰ	ポイントメイクの基礎をおさえる
5	ポイントメイク基礎Ⅱ	ポイントメイクの基礎をおさえる
6	小テスト 舞台映えメイク	全体のバランスを考慮し、舞台上で映えるメイク完成
7	中間テスト	相モデルで時間内に完成させる
8	ボディペインティング	ボディペインティング教材基礎知識、ボディアート実技
9	舞台メイクとボディペインティング	舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ、ボディアートを融合させる
10	舞台メイクとボディペインティングⅡ	舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ、ボディアートを融合させ仕上げる
11	舞台メイク応用	舞台メイクを応用させ、実践する
12	キャラクターメイク	キャラクターメイクに特化して学ぶ
13	作品作り	定期試験に向けての作品作り
14	作品作りⅡ	定期試験に向けての作品作り
15	定期テスト	舞台メイク応用で学んだ技術を生かしボディアートを取り入れた作品を仕上げる

〔特記事項・授業時間外における学習〕

〔成績評価の方法と基準〕

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）
●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
中間試験４０点、期末試験６０点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイク専攻	学年	2	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名	アドバンスヘアメイクⅠ					十文字美香・藤崎萌			
		必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	60	授業回数	30

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

ブライダル・セレモニーヘアメイク、化粧品会社の新商品開発・PR部門、NYコレクションメイクチームの実務がある講師がヘアアレンジのテクニックを教授することによって、学生が卒業後に使えるテクニックを取得できるよう、実践的な授業を行う。

〔到達目標〕

1年生で学んだヘアアレンジの基礎技術を元に、ウィッグに作成してきたスタイルを人頭に施し、より現場で使えるテクニックを磨いていく。

〔使用教材、参考文献等〕

授業内容によって異なるため授業内で確認

〔準備学習・時間外学習〕

授業で学んだことをウィッグ、人頭で反復練習

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1・2	授業内容説明、授業ルール確認、講師紹介・スキルチェック	授業を円滑に行うためのルールを知る、1年生で学んだことを活かして実習
3・4	ブロースタイル	ハンドドライ、ブロー技術を応用する
5・6	【ブロースタイル】小テスト (10点)	ハンドドライ、ブロー技術を使いスタイルを完成させる
7・8	ポニーテールスタイル	一束ゴム結び、ゴム隠しの技術を使って、ポニーテールスタイルを完成させる
9・10	編み込みスタイル	表裏編み込み、表裏片お見込み、フィッシュボーン、四つ編技術を使って編み込みスタイルを完成させる
11・12	小テスト試験練習 【シニヨンスタイル】	タイトな面を意識したシニヨンスタイルを完成させる
13・14	【シニヨンスタイル】小テスト (20点)	タイトな面とフェイス周りの仕上がりを意識して、シニヨンスタイルを完成させる
15・16	カールアイロンダウンスタイル	コテを使用して、巻きの方向を意識した全頭巻きのダウンスタイルを完成させる
17・18	ハーフアップスタイル	コテを使用して、ツイストアレンジを入れ込んだハーフアップスタイルを完成させる
19・20	夜会巻きスタイル	髪の長さに対応した夜会巻きスタイルを完成させる
21・22	【夜会巻きスタイル】 小テスト (10点)	髪の長さに対応、顔周りの仕上がりを意識して、夜会巻きスタイルを完成させる
23・24	新日本髪スタイル	髪の長さに対応した新日本髪スタイルを完成させる
25・26	定期試験練習 【新日本髪】	髪の長さに対応、顔周りの仕上がりを意識して、新日本髪スタイルを完成させる
27・28	定期試験 【新日本髪】 (60点)	全体の仕上がりを意識して、新日本髪スタイルを完成させる
29・30	試験のフィードバック、好きなヘアアレンジ	定期試験のフィードバック、学んだ技術を使ってヘアアレンジを考案、作成する

〔特記事項・授業時間外における学習〕

〔成績評価の方法と基準〕

●評価

A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科 メイクアップ専攻	学年	2	開講区分	前期	担当教員	関亜沙美		
授業科目名	アドバンスヘアメイクⅠ	必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	60	授業回数	30

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

美容師として2年間勤務後、メイクアップアーティストやビューティーアドバイザー、またサロンメイクなどのメイクアップの教育に30年間以上携わりヘッドスパサロンでセラピストとしても20年勤務。現在、他美容学校、美容商材会社アカデミー、メイクサロン、アイブロウサロンのメイクアップ講師、ヘッドスパニストも勤める講師が各年代のメイクアップが習得できる実践的な授業をおこないます。

メイクアップの流行を把握する。

〔到達目標〕

1920年代、1950年代、1960年代、1970年代の時代背景や流行したメイクアップパターンを理解し、時代の雰囲気の表現・仕上がりを目標にテクニックを向上させる。また『歴史は繰り返す』を念頭に、その時代の代表的な人物、ファッションやヘアスタイル、カルチャー、音楽、映画なども学び、現代との関りを把握し知識とメイクアップテクニックを習得につける。

〔使用教材、参考文献等〕

メイク道具一式 筆記用具 iPad 年代別メイク演習専用ファイル

〔準備学習・時間外学習〕

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1・2	化粧の起源から古代、中世、近代の流行のメイクアップなどのレクチャー	化粧の起源から古代、中世、近代の流行のメイクアップなどの把握が出来る
3・4	1920年代の時代背景と流行のメイクアップなどのレクチャー 映画鑑賞	1920年代の時代背景と流行のメイクアップなどの把握が出来る
5・6	1920年代のメイクテクニックのデモンストレーションを見聞しレシピとフェイスチャートを作成	1920年代の流行のメイクテクニックを理解出来る
7・8	1920年代の流行のメイクアップを相モデルで実習	1920年代の流行のメイクアップを実践し習得出来る
9・10	1950年代の時代背景と流行のメイクアップなどのレクチャー 映画鑑賞	1950年代の時代背景と流行のメイクアップなどの把握が出来る
11・12	1950年代のメイクテクニックのデモンストレーションを見聞しレシピとフェイスチャートを作成	1950年代の流行のメイクテクニックを理解出来る
13・14	1950年代の流行のメイクアップを相モデルで実習	1950年代の流行のメイクアップを実践し習得出来る
15・16	中間試験	1950年代の流行のメイクアップを時間内で表現できる
17・18	1960年代の時代背景と流行のメイクアップなどのレクチャー 映画鑑賞	1960年代の時代背景と流行のメイクアップなどの把握が出来る
19・20	1960年代のメイクテクニックのデモンストレーションを見聞しレシピとフェイスチャートを作成	1960年代の流行のメイクテクニックを理解出来る
21・22	1960年代の流行のメイクアップを相モデルで実習	1960年代の流行のメイクアップを実践し習得出来る
23・24	1970年代の時代背景と流行のメイクアップなどのレクチャー 映画鑑賞	1970年代の時代背景と流行のメイクアップなどの把握が出来る
25・26	1970年代のメイクテクニックのデモンストレーションを見聞しレシピとフェイスチャートを作成	1970年代の流行のメイクテクニックを理解出来る
27・28	1970年代の流行のメイクアップを相モデルで実習	1970年代の流行のメイクアップを実践し習得出来る
29・30	定期試験	1970年代の流行のメイクアップを時間内で表現できる

〔特記事項・授業時間外における学習〕

※授業の構成上、通常は中間試験を7回目定期試験を14回目におこないますが、年代別メイク演習の授業では中間試験は8回目定期試験は29，30回目におこないます。

〔成績評価の方法と基準〕

●評価

A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）

E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

中間試験40点、定期試験60点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科	学年	2	開講区分	前期	担当教員	十文字美香・藤本萌		
授業科目名	アドバンスヘアメイクⅡ	必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	60	授業回数	30

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

フリーランス歴17年、ブライダル・セレモニーヘアメイク、化粧品会社の新商品開発・PR部門、NYコレクションメイクチーム帯同経験のある講師(十文字)と、サロンワークを中心に現場での実務経験10年以上現在もフリーランスのヘアメイクとしての活動やコンテスト大会でのヘアメイク担当など多方面で活躍している講師(藤本)が担当し、学生が卒業後に現場で使えるテクニックを取得できるよう、実践的な授業を行う。

〔到達目標〕

1年生で学んだメイクの基礎技術を元に、さらにパーツごとの理解を深め、苦手なテクニックを無くしていく。反復練習によるスキルの引き上げ、実践で使えるテクニックにしていく。

〔使用教材、参考文献等〕

授業内容によって異なるため授業内で確認

〔準備学習・時間外学習〕

授業で学んだことを自分の顔や友人、家族の顔で練習、再現。

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1.2	ガイダンス(授業内ルール説明、振り返りシート配布、講師紹介)・スキンケア①	授業を円滑に行うためのルールを知る、スキンケアの復習
3.4	ベース①ツヤ、クリームリーク、リキッドハイライト	ツヤ肌を極め、ツヤを表現するフェイスカラーを学ぶ
5・6	ベース②セミマット、ソフトチーク、パウダーハイライト、ローライト	セミマット肌を極め、自然に見えるソフトなチークとH/Lを学ぶ
7・8	ベース③マット、ソリッドチーク、コントゥアリング	マット肌を極め、ソリッドチーク、コントゥアリングによる立体感を学ぶ
9・10	アイブロウ①アーチ	曲線的な眉を描くためのアイテムとテクニックを知る
11・12	アイブロウ②ストレート、ピークト	直線的な眉を描くためのアイテムとテクニックを知る
13・14	アイブロウ③ナチュラル	眉の形を活かしたナチュラルな眉を描くためのアイテムとテクニックを知る
15・16	アイ①縦グラデーション	目の縦幅を意識したグラデーションとアイラインの描き方を学ぶ
17・18	アイ②横グラデーション	目の横幅を意識したグラデーションとアイラインの描き方を学ぶ
19・20	まつ毛 アイラッシュカーラー、マスカラ、つけまつ毛	まつ毛の細かいテクニックを学ぶ、苦手克服
21・22	リップ カラーのみ→ペンシル+カラー	アイテムによる表現の違いを知り、リップラインを完璧に描く
23・24	苦手克服	自分の苦手なパーツを克服するための反復練習
25・26	試験前練習	質感、色、形を指定して、高いテクニックで仕上げる
27・28	前期実技試験	質感、色、形を指定して、高いテクニックで仕上げる
39・30	試験フィードバック、スキンケア②(マッサージ)	実技試験のフィードバックを行う、スキンケアにマッサージを取り入れる

〔特記事項・授業時間外における学習〕

〔成績評価の方法と基準〕

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科	学年	2	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名	アドバンスヘアメイクⅢ					十文字美香・藤本萌			
		必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	60	授業回数	30

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

講師歴9年、ブライダル・セレモニーヘアメイク、化粧品会社の新商品開発・PR部門、NYコレクションメイクチーム帯同経験のある講師(十文字)と、サロンワークを中心に現場での実務経験10年以上現在もフリーランスのヘアメイクとしての活動やコンテスト大会でのヘアメイク担当など多方面で活躍している講師(藤本)が担当し、学生が卒業後に使えるテクニックを取得できるよう、分析・理論を交え実践的な授業を行う。

〔到達目標〕

1年生で学んだメイクの基礎技術を元に、分析・メイク理論を学び、よりプロフェッショナルに知識と技術を連動させていく。

〔使用教材、参考文献等〕

授業内容によって異なるため授業内で確認

〔準備学習・時間外学習〕

授業で学んだことを自分の顔や友人、家族の顔で練習、再現。

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1・2	授業内容説明、セッティングチェック、スキルチェック	授業の内容を理解し、目的をもって授業が進められる心構えをする
3・4	プロポーション分析	標準プロポーションを知り、自分の顔の個性、魅力、修正ポイントを知る
5・6	子供顔理論	子供顔を理解し表現する
7・8	大人顔理論	大人顔を理解し表現する
9・10	イメージメイク①CUTE	分析を元にCUTEの特徴を理解し表現する
11・12	イメージメイク②FRESH	分析を元にFRESHの特徴を理解し表現する
13・14	イメージメイク③ELEGANT	分析を元にELEGANTの特徴を理解し表現する
15・16	イメージメイク④COOL	分析を元にCOOLの特徴を理解し表現する
17・18	分析　似合わせ	分析を元にモデルの顔タイプに合ったメイクを提案、施す
19・20	分析　イメージチェンジ	分析を元にモデルの顔タイプと真逆に当たるメイクを提案、施す
21・22	分析　メイク提案	施したいメイクにおいて、分析から修正ポイント含めたメイクプランを作成
23・24	分析　要望に応える	モデルのしたいメイクにおいて、分析から修正ポイントを含めたメイクプランを作成
25・26	テスト前練習	イメージチェンジメイク　分析シート作成の上、実習
27・28	定期試験	イメージチェンジメイク　分析シート作成の上、実習
29・30	テストフィードバック、好きなメイク	実技テストのフィードバックを行う、前期のスキルを活かしたメイクを施す

〔特記事項・授業時間外における学習〕

〔成績評価の方法と基準〕

●評価

A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	ヘアメイク科	学年	2	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名	ファッション講座Ⅱ					高岸裕一			
		必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	15	授業回数	集中

〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)

ヘアメイクに必要なファッションやトレンドを理解する。

フロムハンド卒業後に国内外のブランドのMA、美容サロンの店長後に独立、ヘアメイク事務所の代表、CAA化粧品販売員検定協会の代表理事、クリエイター系会社の代表取締役、コスプレ技術検定協会の理事など兼任、現在も国内外にて活躍中の講師

〔到達目標〕

基本知識を活用し、トレンドを取り入れたコーディネートができるようになる。

〔使用教材、参考文献等〕

都度授業内で連絡

〔準備学習・時間外学習〕

回	〔授業概要〕	到達目標(できるようになること)
1	【授業単元】 授業概要理解	【到達目標】 ネクタイの結び方(2種)を体得する。授業概要を理解する。
2	自分に似合う色と柄を知る①(テキスタイル表)	布見本を用いて、自分に合う物を考察する。
3	自分に似合う色と柄を知る②	布見本を用いて、自分に合う物を考察する。
4	中間テスト 帽子の正しいかぶり方	帽子の種類(由来やかぶり方)を理解する。
5	クローゼットに眠っている物を活用する方法	シルエットを考察し、着方を発見する。
6	小テスト 新しい考え方のポイントを知る	ストリートファッションとは。ユニバーサルデザインとは。新素材や形の扱い方を理解する。
7	黒い服と白い服①	バランスをとる方法を理解する。
8	定期試験	4種のトレンドマップを提出する。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

〔特記事項・授業時間外における学習〕

〔成績評価の方法と基準〕

●評価
A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
中間試験40点、期末試験60点、(演習・筆記試験)にて採点を行う。